



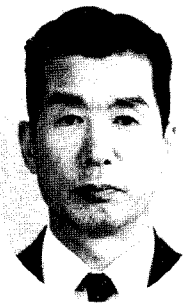
(写真提供 本町一 風間源一郎さん)

# 小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館 〒956-01 新潟県中蒲原郡小須戸町 大字小須戸117番地  
TEL (0250)38-2234  
FAX (0250)38-5210  
編集 公民館報編集委員会

## 新年あけまして おめでとうございます 1998年 年頭のごあいさつ

新しい年を迎え町民の皆さま方には益々ご健勝のことと心からお慶び申し上げます。



小須戸町教育長 高橋 謙 司

### あいさつは 人の心を開くカギ 宮土理さんと叔母さんの話

「お早ようございます。」と登校時に路上で挨拶をしてくれる子どもたち、「こんにちは。」と学校の廊下で声をかけてくる子どもたち、友だちのかけからにこにこしてペコンと頭をさげて通りすぎる子どもたちに接する時、「今日も元気でがんばって。」という気持ちになります。

小須戸町が文部省から「道徳教育推進市町村」の指定を受けて以来、「町ぐるみあいさつ運動」を中心にして、いろいろな実践活動が展開されてきました。

「あいさつは、大きな声ではつきりと」交わすことができる、思わず気持ちがあなごみ、お互いに爽やかな気持ちになるから不思議です。

もう一年も前になりますがNHKテレビで、女優のうつみ宮土理(みどり)さんの、今までのご自分の人生についての楽しい対談の放映がありました。

宮土理さんはご兄弟が四人おられ、小学校四年生の時に実母に死別し、そのあとに娘さん一人を連れた叔母さんが家に入りました。

宮土理さんは、自分の育ての親となったこの叔母さんからの影響を大変強く受けて育ちました。ですから、今でも「母親」と言えばすぐにこの「叔母さん」のことが頭に浮かんでくるのだそうです。それだけこの叔母さんの子どもたちに対する育て方がすばらしかったのでしょう。

こんなことがありました。叔母さんは時々四人の子どもたちをお佛壇の前を集めて

座り、子どもたち一人一人のことについて細かにご先祖に報告したというのです。子どもたちはだまっとうしてその報告を聞いていました。

「ご先祖様、ご先祖様、みどりちゃんは今、お家のお手伝いをとつてもよくやっています。元気のいい返事を聞くと、私もとっても嬉しくなります。」と。

このようにふだんのどんなに小さなことでもご先祖様の前でみんな一つ一つほめてくれたのです。四人の子どもたちはこれを聞きながら、「よし、よし」とがんばろう。そして、もつともつと叔母さんを喜ばせてあげなくっちゃあ。」と考えたそうです。

宮土理さんのそれまでの小学校の成績は、あまりいいとは言われませんでした。ところがある日、国語の漢字書き取りテストがある時に担任の先生に言われた「テストでいい成績をとるには、人が二十回練習したら自分は五十回練習すればいい。」ということばを励みにして頑張ったんだそうです。

そして遂に六年生の時にこのテストで満点の百点をとりました。急いでこのテストを家に持って帰って見せたら叔母さんは非常に喜んでくれて、早速赤飯を炊いてお佛壇に供え、鐘をカンカン、カンカンたたいてみんなでご先祖様に報告をしてお祝いをしてくれました。

この時のようすは、益と正月が一緒にやってきたようになにげやかさだったそうです。これがきっかけとなってか宮土理さんは、そのほかのことにもがんばるようになったというのです。

高校生のころに叔母さんから聞いたことばで、『人生だれだつて「辛い」ことがあるはず、この辛さを

がんばり抜いて一本線をたしてやれば「辛い」という字になるのですよ。』このことばは、今でも胸にだいにじにしまっているというこトです。

宮土理さんの小学生のころは、先生の顔もまともに見られないような恥かしがりやの内気な子供で、お話する声もとても小さかったそうです。

それを見た叔母さんは、まずあいさつの仕方から仕込むことにしました。

朝、家を出る時の「行ってきます。」のあいさつも、「イッテキマース。」と小さな声で言った時の表情は、やはりうつむきかげんの暗い表情になりがちです。

ところが大きな声で「イッテキマース。」と言った時には胸を張り、口も目も大きく開けて、顔全体が明るく輝いているというのです。

この晴れやかな気持ちをそのままもって教室に入れば、教室でもきつと大きな声を出せる明るい子になってくれるに違いない、と叔母さんは考えました。

宮土理さんは、毎朝何度も練習をしながら、遂にいつでも大きな声で挨拶が出来るようになったになりました。

これと同時に宮土理さんは担任の先生も驚くほどの明るく積極的な子どもになり、それにつれて、学校の成績もぐんぐん良くなっていったという事です。

叔母さんの考えがそのまま現実の姿になった宮土理さんは、このことは今でも忘れられない思い出になっていると言っていました。

「あいさつは人の心を開くカギ」と私は考えています。

旧年中のご支援・ご協力に心から感謝を申しあげ、皆さま方の一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

### 公民館運営審議会

- 議長 村山 又雄
- 副議長 風間 源一
- 委員 池田 卓嘉
- 阿部 忠夫
- 中野 弘太郎
- 川瀬 昭一
- 清水 忠五
- 阿達 啓一
- 山田 伊三
- 皆川 英子
- 堀川 悠二
- 藤田 元助
- 小柳 元助
- 高山 勲

### 恭賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます

- 中央公民館長 岡 謙 吾
- 小須戸分館長 榮森 靖生
- 横水分館長 野崎 迪夫
- 矢代田分館長 平間 安雄
- 新保分館長 関根 勝哉

### 館報編集委員会

- 委員長 間野 道英
- 委員 渡辺 怜子
- 古川 満子
- 風間 満治
- 八木 つな子

### 図書委員会

- 委員長 風間 源一郎
- 委員 内山 和男
- 森田 義昭
- 山村 迪子
- 田沢 陸子

# 心のきずなを結び合せて ほほえみ作業所

ほほえみ作業所は、誕生して五年が過ぎました。十二月十四日には、小須戸小学校体育館を借用し、第十二回クリスマスともちつき大会を開きました。みんなで餅を搗き、食べ、語り合い、サンタさんと楽しく遊んだりしました。

今年も、NHKテレビ・新潟日報・FM新津ラジオ等、たくさんの方々が取材に訪れ、大盛会のうちに終わることができました。これも、町民の皆様、ボランティアの方々のご理解とご協力の賜物と心から感謝しております。



お年寄りの方々と「お楽しみ会」のコミュニティーホームの「お楽しみ会」

この度、十月二十八日より、十二月十九日には、ライオンズクラブの方々が大きなケーキを二つ届けてくださいました。このケーキも仲良く分け合って食べました。二十五日に合同お楽しみ会を開きました。縁あって同じ屋根の下で過ごしている者同志、この先もお互いに仲よく助け合って行きたいと思っております。



子供たちもガンバッテお手伝い。

## 催し物のご案内

### ◎二月のおもしろ雑学講座

期日 二月十三日(金)  
午後七時三十分～九時  
会場 中央公民館二階会議室  
講師 堀川益二さん  
(小須戸町教育委員)  
テーマ 「保証の種類と保証人の責任の内容」

### ◎町民スキー教室

期日 二月十四日(土)から十五日(日)  
会場 須原スキー場  
定員 二十名(小学生は保護者同伴)  
参加費 大人 七、〇〇〇円

今年の一月一日付けで、新たに固定資産評価審査委員に横川の長沢修三さんが決まりました。

固定資産評価審査委員は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査処理していただきます。

## 役場からお知らせ

**固定資産評価審査委員が 決まりました**

子供 六、五〇〇円  
申込み 二月三日(火)まで  
参加費を添えて中央公民館へ  
主催 町教育委員会・中央公民館  
主管 町体育指導委員協議会

## ちよこつと一言

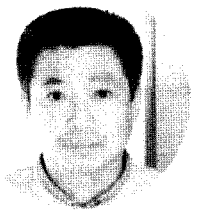
「仲間」  
私には一年の中でいくつか楽しみにしている行事がある。その中の一つが、幼馴染み五人(近年は六人になった)と忘年会で酒を飲むことである。かれこれ十数年続いている。若い頃は、十人(彼女付き)で開催したこともあった。毎年、同じような昔話で終始し、お開きとなる。最近では近くに住んでいて

(118)

「仲間」

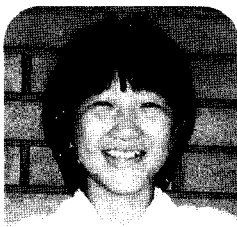
本町五

高橋 義孝さん



もなかなか会うことができなく、みんな髪に白いものもあり、薄くなったりもしてきているが、中身は変わっていない。  
他人から見れば何てことのない飲み会かもしれないが、私にとっては一番好きな会であり、つくづく仲間っていいなあと思える一時である。  
我子二人にも、こんな風に大人になっても付き合える友達を沢山作って、元気に育ってほしいと願っている。

## 川村朋子さん(若葉町三) 新潟県代表に決まる!



二月十四日・十五日の二日間、横浜市に於いて、第二回全国小学生バドミントン都道府県対抗団体戦大会が開かれます。

この大会に新潟県の代表メンバーの一人として川村朋子さんが選ばれました。

新潟県の選手選考会で、女子シングルス一位となった実力をいかして、全国大会でもがんばってください。

## 中野大輔君(新町三) オリンピック聖火ランナー!

長野オリンピックの聖火ランナーに、スポーツ少年団を代表して中野大輔君が選ばれました。

新潟県内の第一区間(新潟駅前からダイエー新潟店前)を聖火随走者として走ることにになりました。とても名誉なことであり、札幌オリンピック以来のチャンスですので堂々とやり抜いてもらいたいものです。



## 小須戸町剣道スポーツ少年団 全国大会県予選会に優勝!!

十二月七日(日)に白根市カルチャーセンターに於いて、全国スポーツ少年団剣道交流大会予選会が行われました。

小須戸町剣道スポーツ少年団は、決勝戦で根地剣道スポーツ少年団(糸魚川市)を三対二で破り、二年連続三度目の全国大会出場を決めました。

三月二十七日から香川県高松市で行われる全国スポーツ少年団剣道大会で、新潟県の代表として全国の少年剣士たちと剣を交えます。



アルミ缶回収 三年間で一トン超える!

町のみなさんのご理解とご協力をいただき、「クリーン・リサイクル作戦」として始めた「アルミ缶回収」ですが、三年間で回収総量が一トンを越えました。

このアルミ缶回収代金は、昨年十二月現在で二二、〇〇〇円となりました。金額はわずかですが、公民館では「クリーンな町」を資源を大切にの運動の実践として意義が大きいと考えています。

## ふれあひ電話相談

◆二月の相談日  
六日(金)十三日(金)二十日(金)二十七日(金)  
◆受付時間  
午後一時～五時  
◆電話番号  
三八一三三〇〇  
◎お名前は言わなくていいです。  
◎秘密は固く守ります。

## リストラップ

### 陶芸クラブ

毎月第一・第三木曜日。午前九時三十分。鍵が開けられた教室に「おはようございます。」のあいさつが響きます。  
「気楽に集まり、好きな作品を作る和やかな会」  
それが発足九年になる陶芸クラブです。  
現在会員数十七名で、手づくりおやつをほおばりながら時にはお料理談義、時には育児相談に花を咲かせながら製作時間を過ごしています。

毎年九月には町民展出品に向けて、仕上げの作業に力を入れます。  
長時間の作業ですが、自分の作りあげた作品を手にした喜びには勝るものありません。  
次回への製作意欲がわく瞬間です。

今年度より村木先生をお迎えし、技術向上のご指導を頂きました。  
私達は陶芸にこだわらず、広い視野を持ち今後とも活動していきたいと思っています。



## シリーズ 「今、子どもたちは」 (17)

### がんばっている一輪車乗り 小須戸幼稚園



子どもたちの遊びは、屋外から屋内へと移り、特に一輪車乗りは多くの子どもが汗を流し練習に熱中しています。練習は、遊戯室に準備した器具を使います。自分の力や友達や先生の力を借り、先ず、一輪車に跨がり体を安定させることから始めます。安定できるまでペダルを休めず回す練習ですが、一番根気と努力を必要とします。これを越えれば、物や人に支えられて乗り、やがて一人乗りができるようになります。

一輪車は、体のバランスを上手にとれば自由に走り回ることが出来ます。この運動は、平衡感覚を発達させ、脳の働きをよくし反射神経を育て、運動能力を伸ばしてくれます。

子どもの頃は、平衡感覚が非常に発達しやすいと言われています。いろいろな遊びを通して平衡感覚を鍛え、運動能力や体力の増進を図ってほしいと願っています。

## 文芸欄

柳 新婚の写真賀状に少し妬け 栗原ひさし  
深呼吸して仰ぎ見る初日の出 増井都留  
横文字の單語がならぶ子の賀状 藤井春江  
寅年も趣味に生きよう夫婦 加藤米二

歌 新玉の諏訪の社に実生より育て 我妻清作  
し竹柏のしるさ香のたつ 長井武雄  
冬のそら見あげる月の照り充ち 鈴木ハナ  
忘れぬ横水時代思い出す 小林芳子  
紅葉の大蔵山に秋日差し幼き杉

俳句 山の神ひそかに在す照紅葉 松沢キヨ  
鮭投網夕日もるとも手繰りをり 篠田悦子  
火の用心呼びかけらるる街師走 吉沢文子  
板塀の中より落葉焚く匂ひ 丸山栄子  
菊まつり参道を風寄せてくる 笠井ふみ  
待たれてをり石路咲くを見てをりぬ 丸山虚秋  
宿坊の落葉の雨を聴く夜かな 間野良遊  
枯るもの枯れおだやかな風景画 田中美根子  
一ト鹿千大根の大世帯 五十嵐香月